

2018年9月6日
独立行政法人国際協力機構（JICA）
ブラジル事務所・サンパウロ出張所

JICA Brazil Business Communication

～ブラジルの第一線で活躍するビジネスパーソンの皆様へ～

目次

1. 民間企業との連携
 - (1) 日系病院連携協議会
 - (2) アマゾンでのフィールドミュージアム構想
2. JICA 事業の紹介
地域警察プロジェクト
3. トピックス
 - (1) 対ブラジル国別開発協力方針の策定
 - (2) 前田理事（中南米部担当）とパラ州知事との協議
 - (3) 日系社会ボランティアの着任

《今後の主要イベント》

- 9月10日(月) 愛知県知事と愛知県出身ボランティアとの懇談 @サンパウロ
11月10日(土) 第2回日系病院連携協議会 @サンパウロ日伯援護協会（日伯友好病院）
11月下旬 発電床の紹介セミナー（（株）音力発電主催） @クリチバ

【コラム】

Q. 以下の会社の共通項は？

#北原国際病院 #オリックス株式会社 #エスハイ社 #住友商事株式会社 #SB エナジー株式会社 #丸紅株式会社 #株式会社すららネット #味の素ファンデーション #住友電気工業株式会社 #テルモ株式会社

A. JICAの民間連携事業を活用して海外ビジネスを展開している企業
(https://www.jica.go.jp/priv_partner/about/ku57pq00002aw0iw-att/ppp_practices.pdf)

※JICAの民間連携事業をもっと知りたい方はコチラ
(https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html)

1. 民間企業との連携

(1) 日系病院連携協議会

2018年5月26日、日系病院と本邦企業双方の理解を深め、有益な関係構築に寄与することを目的に、ブラジル日本商工会議所メディカル分科会の協力を得て日系病院連携協議会を開催しました。本協議会には、ブラジル日本商工会議所や在サンパウロ日本国総領事館、JETRO サンパウロ事務所の他、ブラジルを代表する日系病院とメディカル分科会会員企業を中心とする本邦企業が多数出席しました。

日系病院からの本邦企業に対する要望や提案等について活発な議論が交わされ、本協議会の開催後は、サンタクルス病院の「PROJETO SHOWROOM」の開催や日系研修（病院食の栄養管理コース、早期胃癌の内視鏡診断コース）の提案といった成果につながり始めています。

この「PROJETO SHOWROOM」とは、協議会で挙げられたトピックスの一つ（日系病院を日本製品のショーケース、パートナーとして活用する）に基づいてサンタクルス病院で開始されたプロジェクトです。第1回ではFUJIFILMの新製品説明会が行われ、第2回では日本祭りでのサンタクルス病院ブース内の一角に医療関連日本企業紹介コーナーが設置され、ブラジルの一般市民にも日本の医療製品が紹介されました。

第2回連携協議会は、サンパウロ日伯援護協会（日伯友好病院）を会場に2018年11月10日に開催予定です。



会議の様子

「日系社会と連携した民間連携。「日系病院連携協議会」を開催。」

<https://www.jica.go.jp/brazil/office/information/event/180626.html>

(2) アマゾンでのフィールドミュージアム構想

「Museu na Floresta (森の中のミュージアム)」の略称で知られる本プロジェクトは、京都大学と INPA (国立アマゾン研究所) がメインとなり、2014 年の 7 月から 2019 年の 7 月まで実施している JICA・JST の科学技術協力 (SATRERPS) です。プロジェクトの骨子として、都市の中の博物館に展示物を押し込めるのではなく、逆にアマゾンの豊かな原生林の中にミュージアム施設を設立し、環境教育や地域生態系の研究・保全のセンターとして活用することを目指しています。

本プロジェクトでは①森林観察タワーの修復、②マナティ水槽浄化施設の充実、③フィールドステーション (マナウスからボートで 3 時間のクイエirasの森) の設置を行うと共に、これら施設において、日伯研究者間の協力として代表的生物・生態系の科学的解明、保全・環境教育・エコツーリズムのプログラム策定などを実施しています。

また、伊藤忠商事 (株) が CSR の観点から積極的に事業に参加したことでフィールドステーション建設やアマゾンマナティ調査などが進捗しました。ステーションを構成する 2 建築物 (多目的施設及び宿泊棟) のうち、多目的施設を同社からの寄付により建設、完成致しました。



修復された森林観察
タワー



マナティに給餌する専門家
/京都大学野生生物研究セ
ンター 菊池夢美氏



伊藤忠商事(株)からの寄付により
建設された多目的施設

「伊藤忠商事株式会社の協力で、ブラジル・アマゾンに自然観察・研究施設を整備」

https://www.jica.go.jp/press/2017/20170412_01.html

2. JICA 事業の紹介

【地域警察プロジェクト】

犯罪発生率の高いブラジルにおいて、警察官と住民の対話を通して地域の犯罪予防を図る日本の地域警察活動をブラジルにも導入すべく、2000年から2018年にわたり日本での研修、伯国内での技術協力を実施してきました。成果事例として、サンパウロ市内の交番が主体となって実施するサッカー教室は警察官と住民の信頼関係構築に寄与し、青少年の非行防止にも貢献しています。

サンパウロ州、ミナス・ジェライス州、リオグラン・デ・ドスル州のモデル3州で始まった活動が全国展開し、リオデジャネイロとセルジッピ州を除く全州で日本への研修生派遣や短期専門家による技術支援を行いました。現在ではブラジル国内のみならず、グアテマラやエルサルバドル等の中米地域の治安改善に向けて、サンパウロ州と JICA が協力し活動を行っており、8月20日～31日にはグアテマラ、エルサルバドル、ホンデュラスの警察官らがモデル3州にて実地研修を実施しました。



地域の子供たちが気軽に交番に立ち寄る様子



日本の専門家（右）と巡回記録について話している様子

「ブラジルの治安を守る KOBAN の挑戦」

https://www.jica.go.jp/topics/news/2014/20140609_01.html

3. トピックス

(1) 対ブラジル国別開発協力方針の策定

2018年4月、約5年ぶりに「対ブラジル国別開発協力方針」が改定されました。中南米地域最大の経済規模を誇るブラジルですが、人口8割以上が都市部に在住するものの都市インフラ整備の遅れ、環境・衛生悪化、交通渋滞、自然災害への脆弱性など様々な問題を抱えています。それら課題に対応すべく、基本方針として「持続的開発への支援と互恵的協力関係の促進」を掲げ、重点分野として①都市問題と環境・防災対策、②投資環境改善、③三角協力支援を設定しました。特に②投資環境改善は今回新しく追加された重点分野であり、産業競争力強化に寄与するインフラ整備や人的資源の拡充を含めた経済成長を促進する分野での民間連携や円借款事業の促進にも注力していく方針が日本政府より打ち出されました。

「対ブラジル連邦共和国 国別開発協力方針（2018年4月）」
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000072580.pdf>

(2) 前田理事（中南米部担当）によるパラ州知事との協議

前田秀中南米部担当理事が来伯し、8月20日、パラ州知事シモン・ジャーネーテ氏を表敬しました。州知事より同州は過去に鉱物、木材、水力発電などの開発を進めてきたものの、1940年代には8位であった伯国内GDPが2010年には22位に下落し、状況打破のための3つの改革、具体的には①科学イノベーションを通じた技術革新、②森林・河川保全を前提とした環境負荷低減型の生産チェーン改革、③官民相互補完を目指したガバナンス・管理改革が必要である旨、説明がなされました。また、これら3つの改革を通じた「21世紀の街構想」を実現すべく、技術イノベーションのために日本の最先端技術の活用にかかる要望が表明されました。

今後、JICAとしても同州との協力可能性につき検討して参ります。

(3) 日系社会ボランティアの着任

JICA 日系社会ボランティアは日系社会の活性化、そしてそれを通じた地域社会への貢献を目指してブラジル各地の日系団体に活動しています。

7月上旬には新たに36名のボランティアがブラジルに赴任、現在では87名が北はロライマ州、南はリオグランデ・ドスル州まで全国各地で日本語教育、スポーツ、そして高齢者介護などの社会福祉分野にて活動を行っています。

これまでの派遣者数は1,060名、日系・非日系の別無く、まさに草の根レベルでの両国間の「信頼の絆」を深める活動を日々行っています。例えば、野球では礼に始まり礼に終わるなど日本式の躰が自然と身に付きますが、ボランティアが派遣されている地域では、放課後に親が仕事で不在となる家庭の子供たちも参加し、家庭では実践できない躰が身につけているようです。

JICA日系社会ボランティアは年2回赴任し、来年1月にまた新しいボランティアが着任予定です。

以上

今後四半期毎に、このような情報を、ご提供して参りたいと考えております。

皆様にご関心を持って頂けるよう、内容の充実を図る所存でございます。つきましては、ご意見、ご要望等ございましたら、下記連絡先までご連絡いただければ幸いです。

今後とも、宜しくお願い致します。

【問い合わせ・連絡先】

国際協力機構（JICA）ブラジル事務所サンパウロ出張所

担当：間瀬 将成

電話：(11)-3251-2655 (ex.117)

Email：Mase.Masanari@jica.go.jp